

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画の目的

本村では、村民の生活基盤である下水道サービス水準の維持向上を図るとともに、将来にわたり安定的・継続的な事業運営を推進するため、中長期的な経営の基本計画である「恩納村下水道事業経営戦略プラン」(以下「経営戦略」という。)を策定します。

2. 経営戦略の内容

経営戦略は、下水道事業が将来にわたり安定的に事業を継続するための中長期的な計画であり、「投資試算」(施設・設備投資の見通し、支出)と「財源試算」(財源の見通し、収入)を均衡させた「投資・財政計画」(収支計画)を内容とします。

第2章 現状と今後の見通し

1. 下水道事業の概要

本村の下水道は、処理区数が3区で処理場数も3施設となっています。

H31(2019)年3月31日現在

区分	概要	区分	概要
事業体の名称	恩納村	処理区数	3区(恩納処理区、喜瀬武原処理区、山田処理区)
法適・非適の区分	法非適用	処理場数	3施設(恩納地区污水处理場、喜瀬武原地区污水处理場、山田地区污水处理場)
事業認可	平成14年2月	行政区域内人口	11,005人
供用開始日	平成18年12月	処理区域内人口	4,619人
総事業費	約99.1億円	処理区域面積	273ha
		処理区域内人口密度	16.9/ha
		水洗化人口	2,834人
		下水道普及率	42.0%
		水洗化率	61.4%
		管路延長	41km

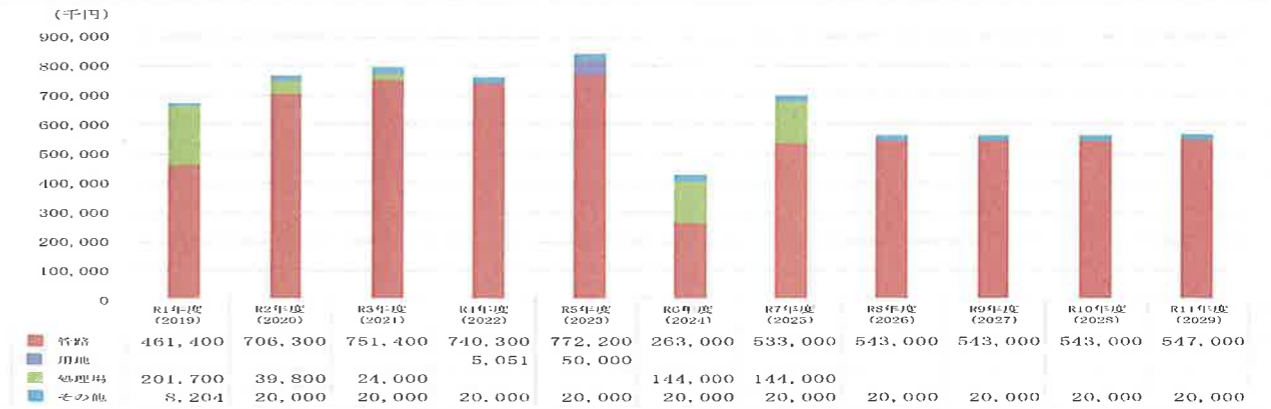
2. 下水道施設の概要

区分	概要		
処理施設名称	恩納地区	喜瀬武原地区	山田地区
所在地	恩納村字恩納7441番地	恩納村字喜瀬武原655番地	恩納村字真栄田213番地
総事業費	6,919,000千円	893,400千円	2,102,900千円
事業期間	平成21年度～平成29年度(恩納第1地区)※完了 平成27年度～令和5年度(恩納第2地区)※予定 採択済、整備中 令和5年度～令和10年度(恩納第3地区)※予定 未採択	平成13年度～平成18年度	平成17年度～平成23年度
処理施設	1箇所	1箇所	1箇所
管路施設	L=15.8km	L=6.3km	L=18.9km
ポンプ施設	9箇所	5箇所	11箇所
供用開始	平成28年6月	平成18年12月	平成23年4月
処理対象汚水	生活排水(し尿及び雑排水の生活系排水)	生活排水(し尿及び雑排水の生活系排水)	生活排水(し尿及び雑排水の生活系排水)
計画処理人口	8,750人	500人	2,580人
計画処理水量	日平均 2,363m <sup>3</sup> /日	日平均 135m <sup>3</sup> /日	日平均 697m <sup>3</sup> /日

3. 今後の見通し

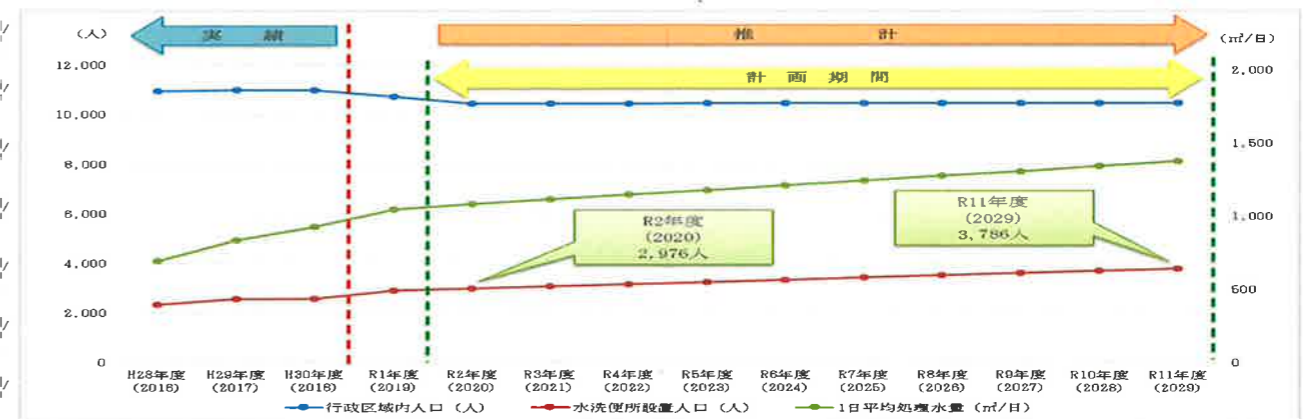
(1) 施設整備投資

施設について恩納第2地区は現在整備中により今後も工事の発生がありますが、恩納第3地区、名嘉真地区の事業採択により新規整備を行う予定としており、建設改良費の増加が見込まれます。



(2) 水洗便所設置人口の推移

本村の水洗便所設置人口については、毎年度30世帯(90名)することを想定しています。



第3章 経営戦略の基本方針

経営戦略は、「恩納村第5次総合計画」で掲げる基本方針として事業を進めていきます。

1. 基本方針

生活排水処理施設整備の推進

2. 基本施策

下水道の普及率の向上を目指すとともに、経営の安定化を推進します。

経営安定化のための  
収入増加、経費の削減

下水道処理区域の拡大

下水道の普及啓発